



| | |
|------------------|---|
| Title | 学生同士のピア・サポート |
| Author(s) | 岡本, 健 |
| Description | http://socyو.high.hokudai.ac.jp/cnews/82.pdf |
| Citation | センターニュース : 北海道大学高等教育機能開発総合センター Newsletter, 82, 4-5 |
| Issue Date | 2010-03-25 |
| Doc URL | https://hdl.handle.net/2115/47253 |
| Type | article |
| File Information | newsletter82.pdf |



学生同士のピア・サポート

北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院
観光創造専攻 博士後期課程
(ピア・サポーター代表) 岡本健

1. ピア・サポート室の開室 ～開室の背景と目的～

2009年11月から、ピア・サポート室が開室しました。ピア・サポート室は学生による、学生のための相談室です。大学に入学し、卒業していくまでには、学生生活上の悩みや研究上の悩み、就職や進路の悩みなど、さまざまな悩みに直面します。周囲に相談できるような相手がいる場合は、こうした悩みは乗り越えやすくなりますが、そうした相手が周りにいない場合、悩みが深刻化する可能性もあります。

ピア・サポート室は、そのような学生を含めて様々な学生に対し、同じ立場である学生が相談にのる場所です。ピア・サポーターは、カウンセリングや高等教育の専門家から傾聴技法や学内の制度について研修を受けており、開室時間中は2人以上が在室しています。

北海道大学には、保健管理センターや、学生相談室など、学生が悩みを相談しに行くことができる場所はすでにあります。ただ、一部の学生にとっては、敷居が高いものになっているようです。保健管理センターや学生相談室に行くほど大げさなことではない、そういった考えなのかもしれません。そのような状況で、今回学生が相談員となって学生を支援するピア・サポート室が立ち上がりました。

ピア・サポーターは、前述の通り、傾聴技法などについてトレーニングを受けていますが、その場で相談者の悩みを解決するような専門的な技能は持ち合わせておりません。ピア・サポーターは相談者の悩みを明確化させ、悩みが解決できる場所や、悩みの解決に資するシステムの紹介を行います。いわゆるインテーカーの役割を果たします。学内にはすでに、様々な形で学生の生活をサポートしてくれる場所や人、組織が数多くあります。ピア・サポーターは、それらと悩みを持った学生をつなぐ役割を果たします。学生同士、気軽に話ができる場所を提供し、悩みの原因を相談者とともに掘り下げ、最適な解決をもたらしてくれる場所を紹介します。

2. 学生同士のコミュニケーションを支援する ～イベント『略して「本活」』について～

2010年3月現在、ピア・サポート室では、『略して「本活」』と呼ばれるイベントを実施しています。これは、「いらなくなった本を必要とする人に渡して本の再活用を促進する会」の意味です。学生が使わなくなった本をピア・サポート室で引き取り、必要な学生に受け渡すことで、本の再活用を促進するとともに、それをきっかけに学生同士の交流を促進しようという取り組みです。

大学生・大学院生は在学中に様々な本を購入します。大学の授業で教科書として指定さ

れた文献はもちろん、それに関連する書籍、普段の学生生活で興味を持って読む書籍など、様々です。それらの本は、学生の卒業とともにどうなってしまうのでしょうか。後輩に譲るという場合もあるでしょうが、学部によって、研究分野によって、先輩・後輩の関係がそれほど密接でない場合も多く見られます。不必要になった本は、古書店に売却されるか、廃棄されているのが現状です。これは大変残念なことであると感じました。

そこで、ピア・サポート室では、「もう必要ないけれども、誰か読む人があれば譲りたい」という学生と、「とにかく読書をして刺激を受けたい」「研究ってどういうものだろう、何か関連する本を読んでみたい」という学生をつなぐイベントとして、「本活」を企画しました。

具体的には、まず、不要になった本をピア・サポート室で引き取り、本の値段や冊数などに応じて文房具などと交換します。集まった本は、新入生の入学時（2010年4月）に、学生に対して無料で頒布する予定をしています。特に新入生は、大学というこれまでとは異なる場に入って来て、不安と期待の入り混じった気持ちであると思われます。その新入生に対して、多種多様な本と出会う機会を用意し、視野狭窄になることを避け、興味・関心を広く持って大学生生活をスタートしてもらおうお手伝いができればと考えています。

本イベントの狙いの中には、ピア・サポーターの実地訓練と、ピア・サポート室の広報という意味もあります。様々な学生の悩み相談に乗るピア・サポーターには、相手の話をじっくりと聴く能力をはじめとする高度なコミュニケーション能力が求められます。初めて会う相手と、どのように関係性を構築していくのかが大きな問題となります。今回のイベントでは、書棚にピア・サポーターが常駐して、様々な相手と本をメディアにして対話します。また、本の頒布の際にピア・サポート室の案内も同時に配布することで、ピア・サポート室自体の広報も行います。

3. 「つながり」の創造を目標に ～ピア・サポート室の今後～

まだ開室したばかりのピア・サポート室ですが、今後、学生主体であることの良さを活かして、様々な「つながり」を創造する組織を目指して活動していきたいと考えております。学内にある様々な組織と連携させていただき、学生目線にたって、北大の学生が充実した学生生活を送ることをサポートしていきたいと考えております。皆様、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

【場所】 高等教育機能開発総合センター1階 N棟 N109

【開室曜日・時間】 火、木・14:00～18:00